

ASEAN 地域における環境整備事業について（報告）  
（ASEAN 諸国での健全な労使関係の構築）

◎(財)日本 ILO 協会へ政府委託事業として行われていた、「ASEAN 地域労使問題政労使セミナー事業」を改変し、2008 年度より ILO 拠出金事業として実施。

1. 2008 年 10 月以降の動き

(1) 労使関係チーム：IRT(Industrial Relation Team)

ASEAN 諸国、日本政府（ダイアログ・パートナー）、ASEAN 事務局、ILO 専門家等、及び労働者/使用者団体代表者（ITUC 及び IOE から指名された者）で構成する。

2008 年 11 月 7 日にタイ・バンコクにて開催し、2008 年度地域セミナー開催に向け事前協議を行った。

(2) 労使関係に係る地域セミナー

日・ASEAN 労働問題協力委員会（PCC）（2008 年 5 月実施）及び IRT において協議されたテーマについて、リード国を開催地として ASEAN+3 の政労使の参加を得て、2009 年 2 月 26 日、27 日、インドネシア・ボゴールにて開催（日本からは、政労使の代表者及び中村 ILO 協会会長が参加）。

テーマ：「ASEAN 統合に向けて：健全で調和のとれた労使関係へ向けた好事例の推進」（Towards ASEAN Integration: Promoting Good Practices for Sound and Harmonious Industrial Relations）

ASEAN 諸国及び日本よりテーマに沿って健全な労使関係構築のための各国取組及び好事例を紹介し、その後参加者で意見交換を行った。

ILO により、各国が発表した好事例を含め報告書にとりまとめるとともに、インターネットを使用した情報提供を行う予定。

2. 今後の予定

(1) IRT 4月 29 日（水）於：タイ・バンコク（予定）

2009 年度におけるセミナーのテーマの詳細、準備の役割分担などの協議（政府より出席予定）

(2) 第 2 回 PCC 5月 13 日（水）於：ラオス・ビエンチャン（予定）

IRT で議論した内容を踏まえ、ASEAN 諸国の代表により、今年度のセ

ミナーのリード国、テーマ等を決定する。

(3) ASEAN+3 高級事務レベル会合 (SLOM+3) 5月14日(木) 於：  
ラオス・ビエンチャン (予定)

PCC の議論を ASEAN として実質的に承認する。